別紙様式第1　様式2

個票 ③

（令和7年度予算分）　地域少子化対策重点推進交付金　実施計画書　（市町村分）　個票

自治体名	長崎県南島原市
本事業の担当部局名	生涯学習課

事業メニュー	結婚_妊娠・出産_子育てに温かい社会づくり・気運醸成事業					
区分	重点メニュー					
関連事業メニュー	3_2_1 自治体間連携を伴う結婚、妊娠・出産、子育てに温かい社会づくり・気運醸成					
個別事業名	結婚、妊娠・出産、子育てしやすいまちNo.1事業				新規／継続（一般財源での実施も含む）	継続
実施期間	R8年4月1日	～	R9年3月31日		事業開始年度	平成24年度
総事業費（A）（円）	1,882,920	寄付金その他の収入予定額（B）（円）	0		差引額（A-B）（円）	1,882,920
対象経費支出予定額（円）※補助率を乗じる前の額	1,882,920					

費用内訳（円）

区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
総事業費	1,135,000	0	0	352,640	346,000	0
対象経費支出予定額	1,135,000	0	0	352,640	346,000	0
対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
区分	**委託料**	**使用料及び賃借料**	**負担金**	**補助金**		**計**
総事業費	49,280	0	0	0		1,882,920
対象経費支出予定額	49,280	0	0	0		1,882,920
対象外経費支出予定額	0	0	0	0		0

―――　※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。

自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け

＜自治体における少子化対策の全体像＞※全事業共通

本市の合計特殊出生率の上昇のためには、「子育て支援」と「結婚支援」を少子化対策の両輪として推進しながらも、有配偶率の上昇を図るための結婚支援に一層力を入れることが最も重要である。

また、県・市町を挙げて機運の醸成に取り組んでいるものの、結婚・子育ての応援者がいまだ少ないことや、若年層の結婚・子育てに対する意識が十分でないことなども課題となっている。

＜本個別事業の位置付け＞

南島原市では若年層の意識醸成について講座の開催、情報発信に努めてきた。引き続き県による結婚・子育てに関する情報発信等と連携し、地域全体の意識向上を目指すとともに、若年層が、具体的なライフデザインを描けるような機会の提供に取り組む必要がある。また、南島原市コアサポーターをはじめとする支援者のさらなる拡大とスキルアップのため、支援者育成と実践支援に取り組むとともに、子育て支援と結婚支援等のネットワークを融合し、他の分野も巻き込むことで、支援者の拡大と子育てを応援する社会全体の機運醸成を図るもの。

個別事業の内容

番号	項目	内容
1	子育て支援人材の育成、スキルアップ	県の情報発信ツール（企業向けメールマガジン等）も活用し、市が実施する講座の周知広報、子育て支援人材の掘り起こし等を実施する。 ＜市の役割＞ 県の情報発信と連携を引き続き行い、さらなる子育て支援人材の育成・スキルアップを行ない、子どもの成長
2	意識醸成に係る講演会の実施	県の情報発信ツール（企業向けメールマガジン等）も活用し、市が行う講演会の周知広報を幅広く行う。 ＜市の役割＞ 乳幼児期の健やかな育ちに大切なことや、ふれ合い・関わりについて学ぶ講演会を実施し、保護者や子育て支援者、地域住民に広く参加を呼びかけ、地域ぐるみの子育て支援の輪を広げ、機運醸成を図る。 ・開催回数（予定）：年1回
3	ライフプランイベントに係る学習会の実施	県が行う若年層の意識醸成策と引き続き連携して、小学生から高校生まで発達段階に応じた学習会を実施する。 ＜市の役割＞ ・学習会の開催 対象：市内小学校5回

＜過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組（ステップアップ）＞

・コロナ禍以降事業から離れたままの支援者や、年齢を理由に参加をためらっている支援者も多くいるため、引き続き個別に案内をしたり、現状を伝えたり、戻ってきやすい環境を作る。

・講座や講演会において、なかなか申込が集まらなかったものの、参加者からの満足度は非常に高かった。参加しやすい時期を調査するなど、開催日時を調整し、また周知の方法として、県のメールマガジンや市LINE等を活用したり、申し込みやすいとの声も多い電子申請を引き続き取り入れたり、参加しやすい環境を整える。

	KPI項目	単位	目標値(時点)	現状値(時点)
少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	結婚支援事業による成婚数	組	3 (R8)	1 (R6)
	子育て支援センター利用者数	人	13,000 (R9年度)	15,238 (R6年度)
	放課後児童クラブ登録者数	人	1167 (R8年度)	863 (R6年度)

	項目	単位	直近の実績値(時点)
参考指標 ※全事業共通	合計特殊出生率		1.63 (R4年度)
	婚姻件数	件	77 (R5年度)
	婚姻率		1.9 (R5)

	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	コアサポーター:参加者数	人	40 (R8年度)	19 (R7年度)
	②	保護者支援士:参加者数	人	20 (R8年度)	12 (R７年度)
	③	図書館サポーター:参加者数	人	100 (R8年度)	45 (R7年度)
	④	意識醸成に係る講演会:参加者数	人	100 (R8年度)	41 (R7年度)
	⑤	ライフプランイベントに係る学習会・中学生対象:参加者数	人	900 (R8年度)	694 (R7年度)
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%		
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%		
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	100 (R8年度)	100 (R7年度)
	④	コアサポーター:参加者の意識変容率(満足度)	%	100 (R8年度)	100 (R7年度)
	⑤	保護者支援士:参加者の意識変容率(満足度)	%	100 (R8年度)	97 (R7年度)
	⑥	意識醸成に係る講演会:参加者の意識変容率(満足度)	%	100 (R8年度)	94 (R7年度)
	⑦	図書館サポーター:参加者の意識変容率(満足度)	%	100 (R8年度)	100 (R7年度)
	⑧	ライフプランイベントに係る学習会・中学生対象:参加者の意識変容率(満足度)	%	100 (R8年度)	98 (R7年度)